

人口フレーム（素案）

以下に示す各種の人口フレームは、一定の与件に基づく推計値である。

全国的な少子高齢化、そして人口減少が予想される時代環境の中、中長期的な趨勢は避けがたいところであるが、人口規模やその年齢構成は、都市のあり様に様々な面で影響が及ぶものであることから、将来人口について推計し、人口フレームとして示すものである。

(1) 仙台市の人口

夜間人口：出生率の推移や社会移動の動向によっては、2020 年には 100 万人を下回る場合も想定されるが、過去トレンドに基づく将来の出生率や社会移動率による推計値によれば、2012 年には 104 万人弱でピークを迎え、2020 年には 103 万人弱と見込みであり、その後も緩やかに減少を続ける見込みである。

人口構成：高齢化・少子化の進展により、高齢者人口の比率は 2005 年の 15.8%から 2020 年には約 25%へと大幅に上昇する見込みである。同じく生産年齢人口の比率は 70.1%から約 63%に、年少人口の比率は 13.7%から約 12%にそれぞれ低下する見込みである。

(2) 人口(都市圏人口・昼間人口・交流人口)

都市圏人口：2020 年では、2005 年とほぼ同数である 146 万人となる見込みである。

昼間人口：2020 年には、2005 年よりも 2 万人ほど増加して、111 万人となる見込みである。

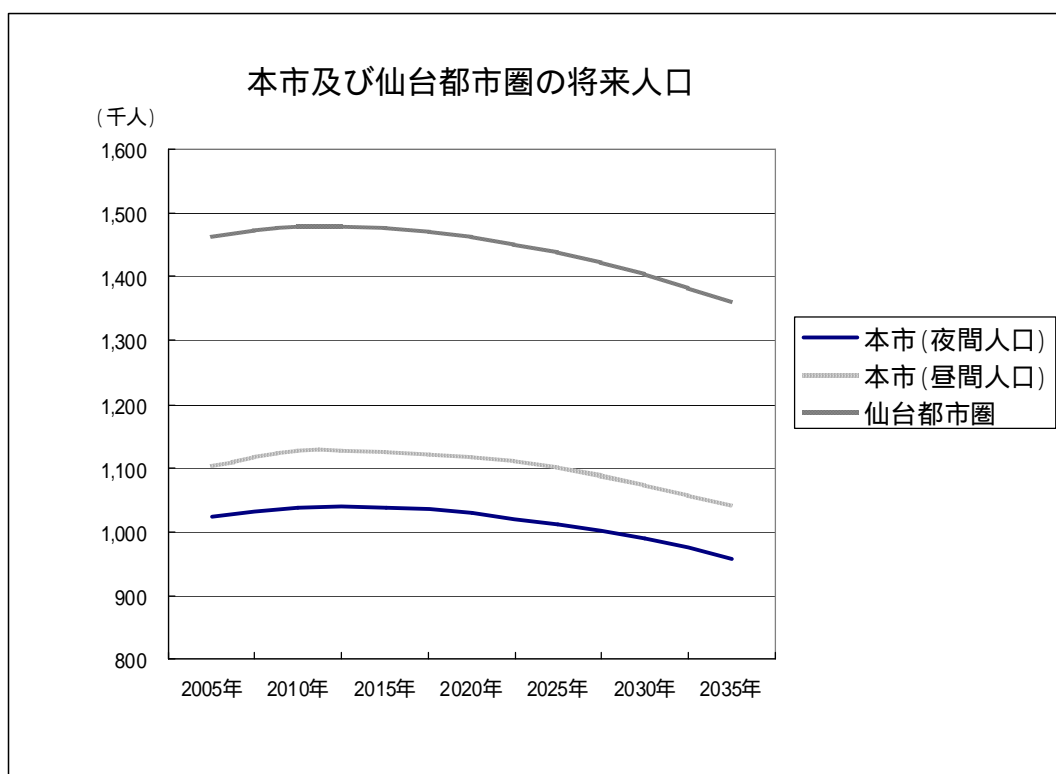
交流人口：広域交流の拡大により、消費、余暇、観光、業務等の訪問者と滞在者を加えた交流人口は、さらに増加する見込みである。

将 来 人 口 の 推 移

1 本市将来人口の推移

(単位：千人)

年次	平成 17 年 (2005 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)	平成 32 年 (2020 年)
夜間人口	1,025	1,038	1,037	1,029
年少人口 (～ 14 歳)	140 (13.7%)	137 (13.2%)	129 (12.5%)	121 (11.8%)
生産年齢人口(15 ～ 64 歳)	718 (70.1%)	706 (68.0%)	674 (64.9%)	646 (62.8%)
高齢者人口 (65 歳 ～)	162 (15.8%)	195 (18.8%)	234 (22.6%)	262 (25.4%)
昼間人口	1,099	1,128	1,127	1,118
都市圏人口	1,462	1,479	1,477	1,464



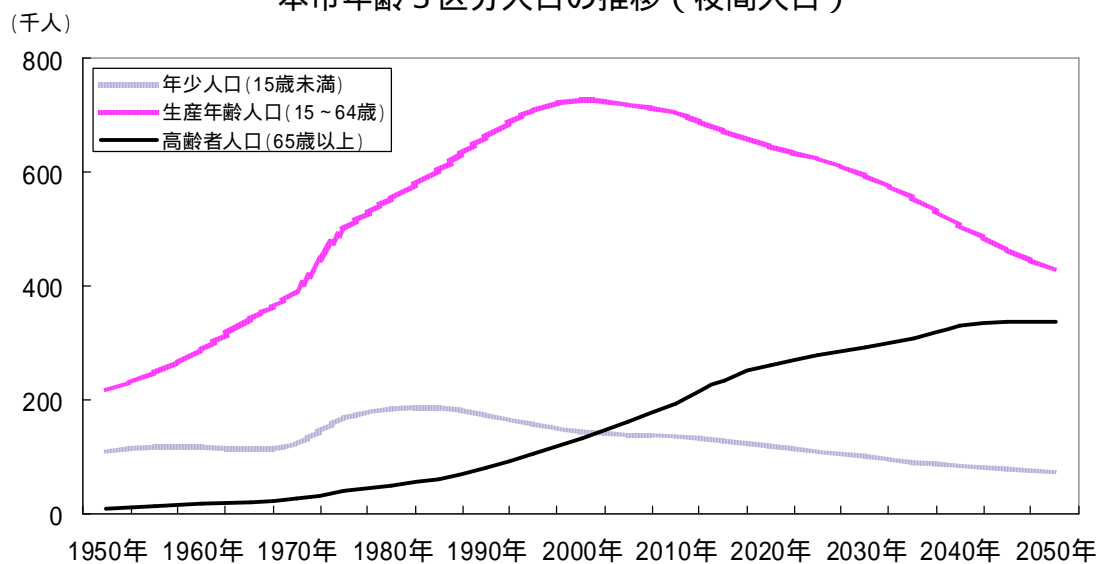
2 本市将来人口の年齢3区分構成の推移

(単位：千人)

年次	昭和45年 (1970年)	昭和55年 (1980年)	平成2年 (1990年)	平成12年 (2000年)
夜間人口	545	792	918	1,008
年少人口(～14歳)	125 (22.9%)	188 (23.7%)	176 (19.2%)	147 (14.6%)
生産年齢人口(15～64歳)	392 (71.9%)	554 (70.0%)	661 (72.0%)	728 (72.2%)
高齢者人口(65歳～)	28 (5.2%)	50 (6.3%)	81 (8.8%)	133 (13.2%)

平成22年 (2010年)	平成32年 (2020年)	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)	平成62年 (2050年)
1,038	1,029	989	923	841
137 (13.2%)	121 (11.8%)	102 (10.3%)	86 (9.3%)	75 (9.0%)
706 (68.0%)	646 (62.8%)	595 (60.2%)	508 (55.1%)	429 (51.0%)
195 (18.8%)	262 (25.4%)	292 (29.5%)	329 (35.6%)	337 (40.0%)

本市年齢3区分人口の推移(夜間人口)

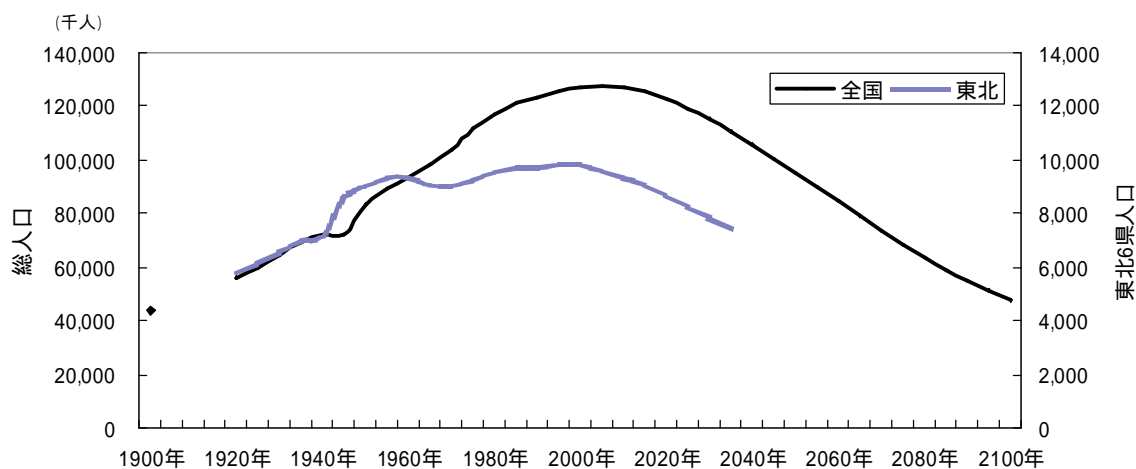


参考 超長期的な人口動向 1900年～2100年

日本の人口は、1900年に4千万人台であったが、経済の成長発展とともに100年後の2000年には1億3千万人弱まで急増した。今後、少子高齢化が一層進み人口減少時代が展望されるなか、さらに100年後の2100年には5千万人を下回る可能性もある。

東北の人口は、1900年に580万人であったが、100年後の2000年には980万人まで増加した。今後東北各地で人口減少地域の増加が見込まれるなか、2035年には750万人を下回る可能性もあり、仙台市の東北に占める人口の比重は相対的に高まる見込みである。

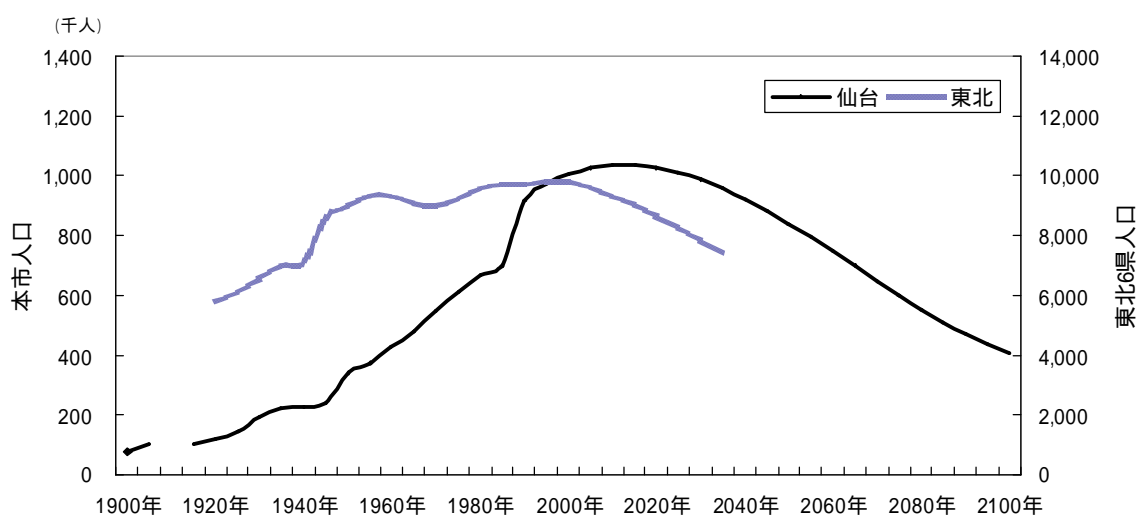
国及び東北地方の人口の推移（夜間人口）



全国の人口は、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」及び「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」による。なお、2056～2105年については、2055年の仮定値を一定とした参考推計である。（1905～1915年は記録なし）

東北の人口は、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」及び「日本の都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計）」による。（統計は1920年以降、推計は2035年まで）

東北及び本市の人口の推移（夜間人口）



本市の人口は、「仙台市統計書」及び本市推計の将来人口による。なお、2056～2105年については、2055年の仮定値を一定とした参考推計である。（1910～1915年は記録なし）